

Y.M

法政大学 GIS(グローバル教養学部)グローバル教養学科

第一次審査:書類

第二次審査:面接(英語)

結果:合格

<<面接の傾向と対策>>

3人の審査官:日本人で女の先生(アメリカ英語)、日本人で男の先生(多分学科の担当、偉い人)、  
外人の先生

時間:20分程度接

服装:スーツ

面接室に入り、ドアの隣にある椅子にバッグをおいてくれと言われる。面接官の迎えに用意されている長テーブルの椅子に座る。面接スタート!

導入の質問:

What is your name and which high school did you graduate? How did you come here? When did you come back to Japan? Where are you staying now? How long have you lived in the Netherlands?

学部についての質問:

Why did you choose to study at GIS? What do you plan to learn or achieve at GIS? Why did you choose September entry? How did you know about the September entry? (大学が9月入学制度を作ろうと決めたのが、去年の9月とかだったらしい。) Do you plan to study abroad?

個人情報についての質問:

Teacher: I read on your application that you have been to Tohoku for a volunteer trip. Tell us more about it. (東北のボランティア活動についてしゃべった。)

Teacher: You also did volunteer work involving football. Why did you decide to do this activity? (J-DREAM(サッカー)でやったことをしゃべった。)

最後の質問:

Do you have any questions? (印象を残したかったので、サッカーを大学でもやりたいが、法政のサッカー部はどうですか? と聞いた。)

対策：

駿台予備校で面接の個人授業をした。(もともと九月入学がうまくいかなかった場合にバックアップとして駿台に入っていた)

自分が提出した志望理由やボランティア活動のことについて書いたことを読み返して、1人で練習した。

全体的な感想：

第一印象は、3人ともとてもフレンドリーで友達と話しているみたいだった。

緊張していて、かんだので深呼吸したら、”take your time”と優しく言ってくれた。目をしっかり見て話すと、うなずいてくれるし、疑問があったらより深く聞いてくる。話しているときに、ハンドジェスチャーが出たのに対して、それほど気にはしていなかった。むしろ良かったのかも？

審査されている感じはあまり無かった。そのぶん、発表まで不安でいっぱいだった。

質問だけを答えるのではなく、少し自分で膨らませなくてはいけない。

(以上)